講義名	英語Ａ(総合)					授業形態	
担当教員	上野 輝夫	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	ENG121

主題と概要

高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成します。
共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。
個別教材は、アメリカで現地の高校生向けに放送されているニュース番組CNN 10から日本の大学生用に2-3分の長さに編集されたビデオクリップを使用します。更に、CNN10のウェブサイト（http://edition.cnn.com/cnn10/)に行き、テキストに掲載された以外の旬な話題のニュースを視聴し、その書き起こし（transcript）を参照することによって、実際に自分の聴解がどの程度正しいかを確認することができます。

到達目標

共通教材:基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。
個別教材: 一語一句正確に聞き取るのではなく、話されているナチュラルスピードの英語(150-200語/分）に慣れ、内容の概要を推測・理解できるようになることを目標とします。英語学習者用に加工された英語ではなく、現地で使われているいわゆる`「生の英語」に慣れることを目標とします。また、世の中で話題になっている事柄に関する英語の語彙の増大を目指します。

提出課題

オンライン、または紙ベースでの課題提出を求めることがあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

共通教材: 翌週の小テスト問題について授業内で解説します。
個別教材: 小テスト、提出された課題は点検・採点後、原則、次回の授業時に各自に返却し、正解の提示と内容の解説を行います。

評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50%とします。共通教材期末テストの得点を25%とします。CNN教材の定期試験の得点を25%とします。規定以上の回数欠席すると単位が認定されません。出席管理は自分で行うこと。

履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語彙および文法）を高めるよう努力してください。
個別教材の目標の一つはナチュラルスピードの英語に慣れることにあるので、授業中に説明する方法に従い、各自スマホやパソコンに音声教材をダウンロードし、常に予・復習に利用する必要があります。
また、教材内容のビデオはストリーミング配信されているので、内容のよりよい理解のため予・復習に必ず利用してください。最初は聞き取れなくても、何回も繰り返し視聴しているうちに少しずつ聞き取れる範囲が増えてきます。その過程を楽しんでください。なお、受講生の音声教材(MP3形式のファイル）と再生用アプリのダウンロード、及びビデオのストリーミング視聴は無料で利用できます。

教科書

.CNN10 Student News Vol. 12.	関戸,小暮,Arnold, Mattson	朝日出版	2420	9784255157115

参考図書

.なし.				

その他

必要に応じて授業中にプリントを配布します。

授業計画

1. Moodle共通教材ガイダンス
2. Moodle共通教材Set 1/
3. Moodle共通教材Set 2/ Moodle Quiz Set 1
4. Moodle共通教材Set 3/ Moodle Quiz Set 2
5. Moodle共通教材Set 4/ Moodle Quiz Set 3
6. Moodle共通教材Set 5/ Moodle Quiz Set 4
7. Moodle共通教材Set 6/ Moodle Quiz Set 5
8. Moodle共通教材Set 7/ Moodle Quiz Set 6
9. Moodle共通教材Set 8/ Moodle Quiz Set 7
10.Moodle共通教材Set 9/ Moodle Quiz Set 8
11.Moodle共通教材Set 10/ Moodle Quiz Set 9
12.Moodle共通教材Set 11/ Moodle Quiz Set 10
13.Moodle共通教材Set 12/ Moodle Quiz Set 11
14. Moodle Quiz Set 12
15.Moodle共通教材期末テスト
個別教材（CNN10, Vol.12)
1. ガイダンス
2. Unit 1 Baseball in Japan (Q: 2, 3, 8)
3. Unit 1 (Q: 4, 6, 7)
4. Unit 3 Keeping Food Fresh (Q: 2, 3, 8), Quiz 1 on Unit 1
5. Unit 3 (Q: 4, 6, 7)
6. Unit 7 Bringing Back Oysters to Hong Kong (Q: 2, 3, 8), Quiz 2 on Unit 3
7. Unit 7 (Q: 4, 6, 7)
8. Unit 9 Food for the Food Bank (Q: 2, 3, 8), Quiz 3 on Unit 7
9. Unit 9 (Q: 4, 6, 7)
10. Unit 11 Waking Digital WOney (Q: 2, 3, 8), , Quiz 4 on Unit 9
11. Unit 11 (Q: 4, 6, 7)
12. Unit 15 Green Energy buildings (Q: 2, 3, 8), Quiz 5 on Unit 11
13. Unit 15 (Q: 4, 6, 7)
14. Quiz 6 on Unit 15, .Review for the final exam
15. (Moodle 期末テスト), .Review for the final exam
16.個別教材(CNN 10)期末テスト

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
○	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

テキストの内容を把握するために音声、ビデオ教材を前もって視聴し、練習問題を解いておく。

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

共通教材(Moodle): 予習：次の授業で解説されるセット問題をRyukaポータル上のムードルにアクセスして解く。復習：授業で解説を聞いた後、次週の小テストに向けてそのセット問題を復習する。・・合わせて2時間程度
個別教材(CNN10)：予習として毎回、音声・ビデオ教材を視聴し、前もって配布された資料を参考にテキストの練習問題（2, 3, 4, 8）を解いておく。復習として、語句と内容の理解を確認後、練習問題8の音読練習を通して小テストに備える・・予・復習合計で2時間程度。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげる。これらの能力は商学部生に求められる各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS(Leaning Management System)であるMoodleをコール教室、および（または）、授業外の自主学習に利用している。

実務経験の有無及び活用

備考